

会員各位

一般社団法人日本鑄造協会  
 経営部会 若手経営者委員会  
 委員長 吉野 正弘  
 (公印省略)

**若手経営者冬季全国大会開催のご案内**

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、日本鑄造協会 若手経営者委員会では、全国鑄造業の若手経営者・後継者及び次代を担うメンバーが一堂に会し、互いに交流を深め研鑽を積むための全国大会を企画し、夏季及び冬季の年2回開催しております。

今年度の冬季大会は、夏季大会に引き続き完全対面にて開催いたします。来る 2024 年 2 月 16 日（金）に講演会ならびに懇親会を下記要領で開催いたします。第一部の講演会は、経済産業省製造産業局素形材産業室長 星野昌志氏から素形材産業の概況と今後の方向性についてご講演いただき、また、第二部は「がんばれ日本のものづくり～日本の産業化の歴史と、EV 化なども含めた今後の展望」と題しまして加藤康子氏（産業遺産情報センター センター長）による基調講演を行います。鑄造だけではなく素形材業界の多くの皆様に聴講いただける内容を企画いたしました。

素形材業界を取り巻く環境は厳しさを増しておりますが、お練り合わせのうえ、是非とも多くの皆様にご参加いただきますようお願い申し上げます。

なお、今年度も引き続きお声掛けさせていただいた素形材団体は下記※のとおりとなります。

敬具

記

日時	2024 年 2 月 16 日（金）	講演会	13:30～17:00
場所	講演会	(株)横浜国際平和会議場（略称 パシフィコ横浜）会議センター501 横浜市西区みなとみらい一丁目 1 番 1 号 電話 045-221-2155 <a href="https://www.pacifico.co.jp">https://www.pacifico.co.jp</a>	
※ 参加を依頼した素形材団体（順不同） (一社) 日本金型工業会、(一社) 日本ダイカスト協会、(一社) 日本バルブ工業会、 (一社) 日本鍛造協会、(一社) 日本金属プレス工業協会、日本粉末冶金工業会、 (一社) 日本金属熱処理工業会、その他鑄造関連団体（日本木型工業会・日本鑄物中子工業会）			

## 講演会 開催要領

参加費	<b>【講演会】</b> 5,000 円 (非会員 7,000 円) (10%税込) <b>【懇親会】</b> 11,000 円 (10%税込)	
申込み	申込み・お問合せ先	一般社団法人日本鑄造協会 経営グループ 浦邊・正岡まで Tel 03-3432-2991 FAX 03-3433-7498 E-mail : masaoka@foundry.jp
	締切日	2024年1月26日(金)
	参加募集人数	<b>【講演会】</b> 対面 : 130 人 <b>【懇親会】</b> 130 人
	参加費について	みずほ銀行 神谷町支店 普通預金 No. 1000022 「一般社団法人 日本鑄造協会」に2月5日(月)までに、申込書記載の会費をお振込み下さい。(振込手数料はご負担下さい) なお、会費はご返金出来かねますので、欠席の場合等は代理の方のご出席をお願いいたします。

## 講演会・懇親会 プログラム

**講演会** 13:30~17:00 (株)横浜国際平和会議場 (略称 パシフィコ横浜) 会議センター501  
 [プログラム]

開会挨拶 13:30~若手経営者委員会 委員長 吉野 正弘 (ヨシワ工業(株)代表取締役社長)  
 経営部会 部会長 武山 尚生 (中央可鍛工業(株)代表取締役会長)

(時間は質疑応答を含む)

	時間	(分)	演 題	講 演 者
1	13:40 ~14:30	(50)	「素形材産業の概況と政策支援の動向(仮題)」	経済産業省 製造産業局 素形材産業室長 星野 昌志 氏
	14:30 ~14:45	(15)	休 憩	
2	14:45 ~16:35	(110)	「がんばれ日本のものづくり ~日本の産業化の歴史と、 EV化なども含めた今後の展望」	産業遺産情報センター センター長 加藤 康子 氏
3	16:35 ~16:55	(20)	質疑応答	

閉会挨拶 16:55~ 若手経営者委員会 副委員長 塩谷 栄治 (石川可鍛製鉄(株)代表取締役社長)

**【懇親会】** 17:15~19:15 (株)横浜国際平和会議場 (略称 パシフィコ横浜) 会議センター502

産業遺産情報センター センター長

加藤 康子

Koko KATO



元内閣官房参与

一般財団法人産業遺産国民会議 専務理事

国家基本問題研究所 評議員

内閣官房産業界プロジェクトチームコーディネーター

「明治日本の産業革命遺産」世界遺産協議会コーディネーター

山本作兵衛ユネスコ世界記憶遺産プロジェクトコーディネーター

保全委員会副委員長、インタープリテーション部会、端島護岸部会部会長

慶應義塾大学文学部卒業。国際会議通訳を経て、米国 CBS ニュース東京支社に勤務。ハーバードケネディスクール大学院都市経済学修士課程（MCRP）を修了後、日本にて起業。国内外の企業城下町の産業遺産研究に取り組む。

著書「産業遺産」（日本経済新聞社、1998年）ほか、世界の企業城下町のまちづくりを鉱山・製鐵の街を中心に紹介。「エコノミスト」「学燈」「地理」「週刊新潮」「新潮45」「正論」「HANADA」「Will」など各誌に論文、エッセーを執筆。共著に「EV推進の畏」（ワニブックスより2021年10月）「SDGsの不都合な真実（宝島社）」

明治日本の産業革命遺産世界遺産登録推薦書をはじめ、明治日本の産業革命遺産ダイジェストブック、パンフレットの執筆作成、「鉄がわかる本」「石炭がわかる本」「船がわかる本」「インタープリテーションマニュアル」の監修、明治日本の産業革命遺産 AR マップなど、明治日本の産業革命遺産関連の印刷物作成を多数手がける。

参照：

明治日本の産業革命遺産 公式サイト <http://www.japansmeijiindustrialrevolution.com/>

軍艦島の真実 ウェブサイト <https://www.gunkanjima-truth.com/l/ja-JP/>

産業遺産国民会議ウェブサイト <https://www.ncih.jp/>